

# 第74回ミニネタ研（二次案）

冬のミニネタ研のご案内です。今回は私の卒業生二人に登壇していただきます。清時さんは、盾津東中の卒業生で、当時は生徒会長で学年のリーダーでした。お二人の障害者の子どもさんを育てながら、福祉関係の仕事がされています。先日テレビで、彼の子どもさんへのかかわりや、じりつに向けた取り組みが放映されました。そして、谷岡さんです。私は彼を小阪中時代に担任しました。あることがきっかけで不登校にはなりましたが、高校そして大学にも進学し、現在は愛媛県で仕事をされている発達障がい者です。彼のことは、私の「学級づくり、集団づくりの鉄則」（明治図書）にも紹介されています。そして、草場先生からは、東大阪で実践されてきたことからの問題提起、兵庫教育大学大学院で研究されたことをふくめお話しいただきます。今回、題名をいただき「自立」「じりつ」「障害者」「障がい者」など使い方が異なっていました。そのあたりからそれぞれの価値観の話も話題にしたいと思います。

◆日時 12月22日(日)13:00～17:00

◆会場 高津ガーデン（大阪上本町下車北東徒歩5分）

◆参加費 1000円(報告者500円) 学生700円

◆定員 30名(定員になり次第締め切ります)

◆参加申し込み 河原 和之

qq36ps9 あつと tea.ocn.ne.jp fax 072-996-3627

◆日程 12:40受付

① 13:00～13:10 開会あいさつ

② 13:10～15:00 「障がい者の自立！家庭・学校・社会ができること」  
～「インクルーシブ教育」の展望を問う～

<司会>河原 和之（立命館大学 非常勤）

<パネリスト>

「障害者とその家族のじりつを考える」 清時 忠吉(社会福祉法人いずみ野福祉会)

「自閉スペクトラム症の私～不登校から自立への歩み」

谷岡 光啓(NTTビジネスソリューションズ 株)

「特別支援教育を学び始めたきっかけ」

草場 和歌子(東大阪 高井田東小)

③ 15:10～15:35

社会科「取材活動から授業をつくる～長野県川上村と信玄の業績～」

河原 和之（立命館大学）

④ 15:35～16:00

公民「学級憲法をつくろう」

永田 皓郎(東大阪 繩手北中)

⑤ 16:00～16:25

世界史「国民国家はいかにして形成されたか？」  
～フランスとシンガポールを通して～

神谷 空良(立命館大学学生)

⑥ 16:25～16:55

交流会

## 参加申し込み

名前	所属